

第1回観光おもてなし研究会 ニコニコ生放送中の視聴者からのコメント(抜粋)

I. おもてなしとは

1	計算されたおもてなしは、おもてなしと言えるのだろうか
2	おもてなし? 定義はともかく、「来てよかった」「また来よう」と思ってもらえることでは?
3	変わらない事が一番のおもてなしかな
4	やはり「住んでよし、訪れてよし」がおもてなしに通じるんですね。
5	おもてなしは、自分がされたら嬉しいだろうなの延長だから。普段から他人からどれだけ親切にされるか、親切にするか

II. 観光客の受入について

6	海外旅行先に自国言語での案内板は嬉しいけれど新鮮さを失うと思います
7	日本の伝統文化を観光受けするよういじりすぎても観光する魅力が無くなると思うな
8	はたして、観光する側は、作られた[おもてなし]を受けたいのか? 地域の素顔をみたいのではないのかな?

III. 研究会での検討について

9	研究会の名称が「観光おもてなし研究会」だからといって「おもてなし」という言葉に拘ることはないではありませんか?
10	おもてなしを標準化する必要がどこにあるのかな?
11	「観光」で大切なことはおもてなし? おもてなし「も」必要だろうけど。流行の言葉に拘る議論はそろそろ止めて本題に入ったら?
12	おもてなしという言葉の前に、地域の観光の掘り起しの原点を議論してもらえませんか?

IV. 著名な観光地、資源を持たない小さな町の対応

13	著名な観光地を持たない小さな町が観光事業に取り組むためには、魅力の発掘、企画から始めなければならない。ここが難しい。
14	行ってみようかな、と、思ってもらえる情報を発信するためには、今は知られていなくても、磨けば光る素材が必要。
15	外国人の前に、日本人の集客すらままならない、多くの小さい町
16	報告書は代表例、成功例で、理想像なので、現実に苦しんでいる町は少し様子が違う。
17	京都・東京のような所謂観光地のことを話題にしてる? これといった観光地がない一般の町の観光をどうするか、の議論?
18	史跡や文化が少ない町の観光協会はどうやって集客しようか知恵を絞ろうとしていて、そのためにこの放送を視聴しています。

第1回観光おもてなし研究会 ニコニコ生放送中の視聴者からのコメント(抜粋)

V. 観光協会の役割、現状等

19	当事者は気づかない、魅力を発見するためには、町の観光協会は何が足りない？
20	外国人1000万の次は2000万人。どうやって増やすの？受け入れに観光協会は何かできるの？
21	予算・人材が少ない？まずは、予算・人材に合った規模、内容の観光を目指すには？
22	行政・観光協会の平等主義は結局何にもならん
23	平等主義、まさに観光協会の限界。この指止まれ方式でやらないと

VI. フランスと日本の違い

25	観光大国フランスと日本の違いは何だと思えますか？
26	フランスはおもてなしを受けるには、よっぽど仲良くならないと。そういう国民性らしいよ
27	おもてなしがなくても観光客はたくさん来るってことですね！！
28	ようは、日本におもてなしを受けに行くぞっていう観光の目的になるかどうか

VII. 観光振興全般について

29	すべての自治体を観光地にするのは不可能、史跡や文化があつてこそ
30	地域コミュニティ再生が仕事になるご時世。まずは国内の日本を安定化しないと
31	安定は大事。あとは地域の人間がちゃんと「観光」の愛情を持つべき。
32	クールジャパンもそうだけど、ありのままでもいいのに、さらにお金に繋げるにはどうしようという動きが空回り
33	お客様のターゲットを定めて魅力発掘・発信というのはいいですね。参考になります。
34	そもそも観光だけで日本経済をなんとかしようという縦割りがよくない